

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2026年3月13日まで（2016年4月13日設定）	
運用方針	AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国（除く日本）のインフラ関連企業の株式等（預託証券および投資信託証券等を含むことがあります。）に投資を行います。なお、インフラ関連企業とは、公益、通信、エネルギーおよび運輸等の日常生活に必要な不可欠なインフラ資産を所有・運営し、その利用料を主な収益源とする企業をいいます。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの株式等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーフンド	AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界各国（除く日本）のインフラ関連企業の株式等（預託証券および投資信託証券等を含むことがあります。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）         </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告書（全体版）

# AMP グローバル・インフラ 株式ファンド（ラップ向け）

第6期（決算日：2022年3月15日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「AMP グローバル・インフラ株式ファンド（ラップ向け）」は、去る3月15日に第6期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(円換算ベース)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
2期(2018年3月15日)	10,895	0	△0.9	227,801	6.7	87.4	—	10.5	46
3期(2019年3月15日)	12,699	0	16.6	238,657	4.8	88.7	—	9.3	22
4期(2020年3月16日)	10,766	0	△15.2	205,660	△13.8	86.7	—	9.2	21
5期(2021年3月15日)	13,710	0	27.3	312,505	52.0	90.7	—	6.1	15
6期(2022年3月15日)	17,068	0	24.5	345,262	10.5	92.6	—	5.8	18

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス) (円換算ベース)は、MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス) (米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス)に対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(円換算ベース)	騰 落 率			
(期 首) 2021年 3月15日	13,710	—	312,505	—	90.7%	—	6.1%
3月末	13,969	1.9	317,003	1.4	90.5	—	6.6
4月末	14,433	5.3	331,424	6.1	90.7	—	6.7
5月末	15,011	9.5	335,600	7.4	90.0	—	6.8
6月末	15,105	10.2	343,688	10.0	89.4	—	7.3
7月末	14,996	9.4	348,330	11.5	89.5	—	7.5
8月末	14,956	9.1	356,320	14.0	89.3	—	7.8
9月末	15,137	10.4	347,601	11.2	89.7	—	7.4
10月末	16,085	17.3	372,728	19.3	90.1	—	7.5
11月末	15,499	13.0	370,575	18.6	89.4	—	7.0
12月末	16,201	18.2	385,508	23.4	88.9	—	7.3
2022年 1月末	16,373	19.4	358,250	14.6	91.0	—	6.3
2月末	16,524	20.5	355,582	13.8	92.1	—	5.9
(期 末) 2022年 3月15日	17,068	24.5	345,262	10.5	92.6	—	5.8

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第6期：2021年3月16日～2022年3月15日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第6期首	13,710円
第6期末	17,068円
既払分配金	0円
騰落率	24.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ24.5%の上昇となりました。

## ▶ 基準価額の変動要因

### 上昇要因

保有する「NATIONAL GRID PLC（イギリス、公益事業）」などの株価が上昇したことや、米ドルやカナダドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

第6期：2021年3月16日～2022年3月15日

## 投資環境について

### ▶ 外国株式市況

**グローバル株式市況は上昇しました。**

期首から2021年12月下旬にかけては、新型コロナウイルスの変異株への警戒感などから下落する局面があった一方、米国の追加経済対策への期待や新型コロナウイルスワクチン普及に伴う経済正常化への期待などを背景に上昇しました。2022年1月上旬から期末にかけては、各国の金融政策転換の動きやロシア・ウクライナの軍事衝突リスクへの警戒感などを背景に下落しました。期を通して見るとグローバル株式市況は上昇しました。

### ▶ 為替市況

**為替市況は米ドルなどが対円で上昇しました。**

各国中央銀行の金融引き締め観測などから米ドルやカナダドルなどが対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ AMP グローバル・インフラ株式ファンド（ラップ向け）

マザーファンドを通じ、世界各国（除く日本）のインフラ関連企業の株式を高位に組み入れる運用を行いました。

### ▶ AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド

世界各国（除く日本）のインフラ関連企業（公益、通信、エネルギーおよび運輸等の日常生活に必要なインフラ資産を所有・運営し、その利用料を主な収益源とする企業）の株式等へ幅広い投資を行い、組入比率は高位を維持しました。

今期に新規組入、全株売却した主な銘柄のポイントは以下の通りです。

#### 新規組入銘柄

ECORODOVIAS INFRA E LOG SA（ブラジル、運輸）：事業環境が改善傾向にあると判断し新規に組み入れました。

#### 全株売却銘柄

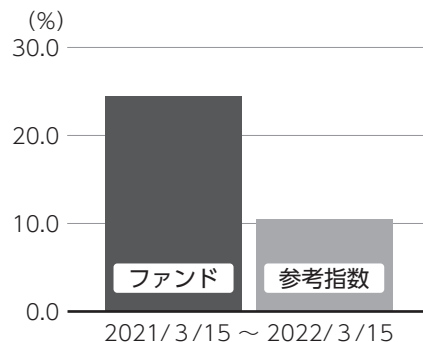
KINDER MORGAN INC（アメリカ、エネルギー）：利益確定のために全株売却しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI Kokusai Index（MSCIコクサイインデックス）（円換算ベース）です。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第6期
	2021年3月16日～2022年3月15日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	7,067

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ AMP グローバル・インフラ株式 ファンド（ラップ向け）

マザーファンドへの投資を通じて、世界各国（除く日本）のインフラ関連企業の株式を高位に組み入れ、信託財産の中長期的な成長をめざす運用を行います。

セクター別では、北米の石油・ガスの貯蔵・配送セクターは地政学的リスクや資源価格などから、引き続き強気な見方をしています。また、運輸セクターでは、短期的な需要変動に耐えうる健全な財務構造を持った企業を選好します。

### ▶ AMP グローバル・インフラ株式 マザーファンド

金融市場では利回りを求める動きが続いており、ディフェンシブと成長資産の性質をあわせもつインフラ関連銘柄に対する需要は将来的に高まると見ています。また、新型コロナウイルスの感染拡大は収束に向かいつつあると考えており、感染拡大の影響を受けていたインフラ関連銘柄は徐々に見直されることが期待されます。

このような投資環境下、持続的にキャッシュフローを創出し、ファンダメンタルズが健全な銘柄に注目します。そして、それらが本来持つ投資価値からカイ離した際に投資好機が訪れると考え、その機会をうかがっていく方針です。



2021年3月16日～2022年3月15日

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	176	1.144	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(161)	(1.045)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(8)	(0.055)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(7)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	8	0.049	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(7)	(0.048)	
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	6	0.037	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(6)	(0.037)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	27	0.176	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(22)	(0.144)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(5)	(0.029)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	217	1.406	

期中の平均基準価額は、15,375円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

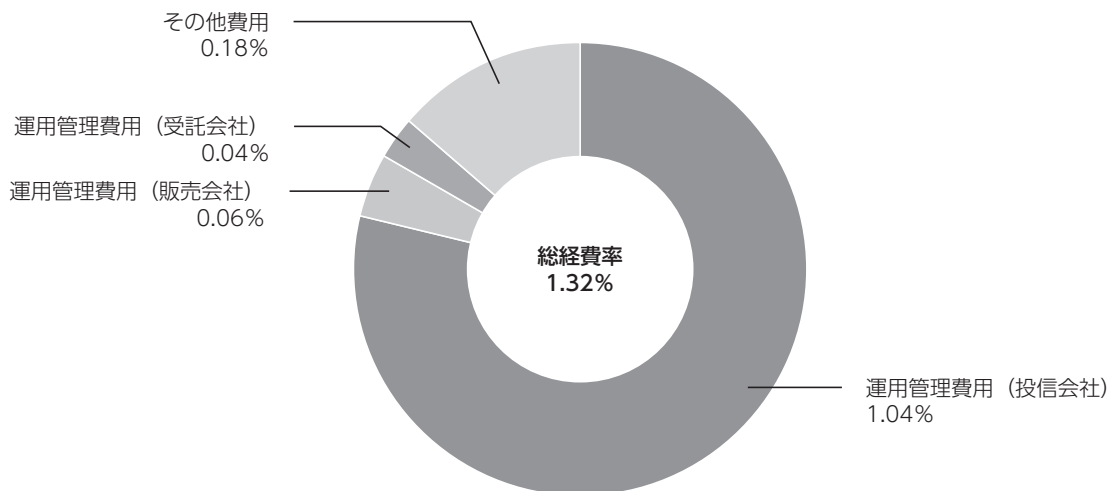
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.32%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年3月16日～2022年3月15日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 797	千円 1,240

## ○株式売買比率

(2021年3月16日～2022年3月15日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	1,107,462千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,382,206千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.80	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年3月16日～2022年3月15日)

## 利害関係人との取引状況

<AMP グローバル・インフラ株式ファンド（ラップ向け）>  
該当事項はございません。

## &lt;AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1,086	百万円 35	% 3.2	百万円 1,040	百万円 66	% 6.3

平均保有割合 1.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年3月16日～2022年3月15日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 10	百万円 —	百万円 —	百万円 10	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2022年3月15日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド	千口 10,911	千口 10,114	千円 18,459

## ○投資信託財産の構成

(2022年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド	千円 18,459	% 99.3
コール・ローン等、その他	127	0.7
投資信託財産総額	18,586	100.0

(注) AMP グローバル・インフラ株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（1,694,580千円）の投資信託財産総額（1,710,951千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=118.25円	1 カナダドル=92.20円	1 ブラジルリアル=23.0894円	1 ユーロ=129.48円
1 イギリスポンド=153.88円	1 スイスフラン=125.99円	1 オーストラリアドル=85.01円	1 香港ドル=15.10円

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年3月15日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	18,586,888
コール・ローン等	127,189
AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド(評価額)	18,459,699
(B) 負債	98,373
未払信託報酬	98,154
その他未払費用	219
(C) 純資産総額(A - B)	18,488,515
元本	10,832,578
次期繰越損益金	7,655,937
(D) 受益権総口数	10,832,578口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,068円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 11,576,621円  
 期中追加設定元本額 0円  
 期中一部解約元本額 744,043円  
 また、1口当たり純資産額は、期末17,068円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2021年3月16日～ 2022年3月15日
費用控除後の配当等収益額	514,594円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	3,122,701円
収益調整金額	1,671,626円
分配準備積立金額	2,347,016円
当ファンドの分配対象収益額	7,655,937円
1万口当たり収益分配対象額	7,067円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金額	-円

- ③「AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の50以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## ○損益の状況（2021年3月16日～2022年3月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	3,830,158
売買益	3,895,908
売買損	△ 65,750
(B) 信託報酬等	△ 192,863
(C) 当期損益金(A + B)	3,637,295
(D) 前期繰越損益金	2,347,016
(E) 追加信託差損益金	1,671,626
(配当等相当額)	( 1,251,019)
(売買損益相当額)	( 420,607)
(F) 計(C + D + E)	7,655,937
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F + G)	7,655,937
追加信託差損益金	1,671,626
(配当等相当額)	( 1,251,019)
(売買損益相当額)	( 420,607)
分配準備積立金	5,984,311

- (注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド

## 《第6期》決算日2022年3月15日

[計算期間：2021年3月16日～2022年3月15日]

「AMP グローバル・インフラ株式マザーファンド」は、3月15日に第6期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として世界各国（除く日本）のインフラ関連企業の株式等に投資を行います。なお、インフラ関連企業とは、公益、通信、エネルギーおよび運輸等の日常生活に必要なインフラ資産を所有・運営し、その利用料を主な収益源とする企業をいいます。株式等への投資にあたっては、インフラの種類や地域の分散に配慮しながら、個別企業の成長性、配当利回り、割安度、企業のクオリティに着目し、銘柄選定を行います。株式等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	世界各国（除く日本）のインフラ関連企業の株式等（預託証券および投資信託証券等を含むことがあります。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券組入比率	純資産 総額
	期 騰 落	中 率	(円換算ベース)	期 騰 落 率				
	円	%		%	%	%	%	百万円
2期(2018年3月15日)	11,101	0.3	227,801	6.7	87.9	—	10.6	814
3期(2019年3月15日)	13,100	18.0	238,657	4.8	89.2	—	9.3	1,081
4期(2020年3月16日)	11,235	△14.2	205,660	△13.8	87.2	—	9.3	861
5期(2021年3月15日)	14,483	28.9	312,505	52.0	91.1	—	6.1	1,307
6期(2022年3月15日)	18,250	26.0	345,262	10.5	92.8	—	5.9	1,710

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) (円換算ベース) は、MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) (米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(円換算ベース)	騰 落 率			
(期 首) 2021年 3月15日	円	%		%	%	%	%
	14,483	—	312,505	—	91.1	—	6.1
3月末	14,765	1.9	317,003	1.4	90.8	—	6.7
4月末	15,273	5.5	331,424	6.1	91.1	—	6.7
5月末	15,902	9.8	335,600	7.4	90.3	—	6.8
6月末	16,017	10.6	343,688	10.0	89.9	—	7.3
7月末	15,916	9.9	348,330	11.5	89.9	—	7.5
8月末	15,889	9.7	356,320	14.0	89.6	—	7.8
9月末	16,097	11.1	347,601	11.2	89.9	—	7.4
10月末	17,123	18.2	372,728	19.3	90.2	—	7.5
11月末	16,513	14.0	370,575	18.6	89.9	—	7.0
12月末	17,280	19.3	385,508	23.4	89.3	—	7.3
2022年 1月末	17,482	20.7	358,250	14.6	91.2	—	6.3
2月末	17,659	21.9	355,582	13.8	92.3	—	5.9
(期 末) 2022年 3月15日	18,250	26.0	345,262	10.5	92.8	—	5.9

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

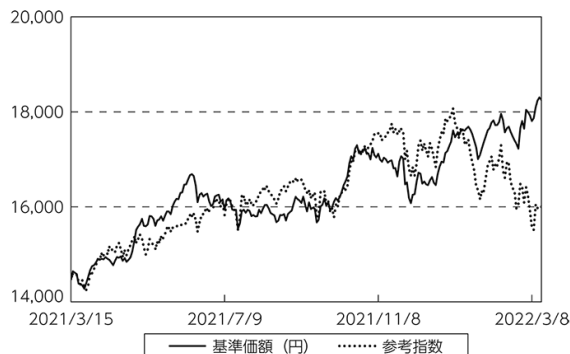
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ26.0%の上昇となりました。

## 基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●基準価額の主な変動要因

### (上昇要因)

- ・保有する「NATIONAL GRID PLC (イギリス、公益事業)」などの株価が上昇したことや、米ドルやカナダドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

## ●投資環境について

### ◎外国株式市況

- ・グローバル株式市況は上昇しました。
- ・期首から2021年12月下旬にかけては、新型コロナウイルスの変異株への警戒感などから下落する局面があった一方、米国の追加経済対策への期待や新型コロナウイルスワクチン普及に伴う経済正常化への期待などを背景に上昇しました。2022年1月上旬から期末にかけては、各国の金融政策転換の動きやロシア・ウクライナの軍事衝突リスクへの警戒感などを背景に下落しました。期を通して見るとグローバル株式市況は上昇しました。

### ◎為替市況

- ・為替市況は米ドルなどが対円で上昇しました。
- ・各国中央銀行の金融引き締め観測などから米ドルやカナダドルなどが対円で上昇しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・世界各国（除く日本）のインフラ関連企業（公益、通信、エネルギーおよび運輸等の日常生活に必要不可欠なインフラ資産を所有・運営し、その利用料を主な収益源とする企業）の株式等へ幅広い投資を行い、組入比率は高位を維持しました。
- ・今期に新規組入、全株売却した主な銘柄のポートは以下の通りです。

## ◎新規組入銘柄

- ・ECORODOVIAS INFRA E LOG SA (ブラジル、運輸)：事業環境が改善傾向にあると判断し新規に組み入れました。

## ◎全株売却銘柄

- ・KINDER MORGAN INC (アメリカ、エネルギー)：利益確定のために全株売却しました。

## ◎今後の運用方針

- ・金融市場では利回りを求める動きが続いており、ディフェンシブと成長資産の性質をあわせもつインフラ関連銘柄に対する需要は将来的に高まると見ています。また、新型コロナウイルスの感染拡大は収束に向かいつつあると考えており、感染拡大の影響を受けていたインフラ関連銘柄は徐々に見直されることが期待されます。
- ・このような投資環境下、持続的にキャッシュフローを創出し、ファンダメンタルズが健全な銘柄に注目します。そして、それらが本来持つ投資価値からカイ離れた際に投資好機が訪れると考え、その機会をうかがっていく方針です。
- ・セクター別では、北米の石油・ガスの貯蔵・配送セクターは地政学的リスクや資源価格などから、引き続き強気な見方をしています。また、運輸セクターでは、短期的な需要変動に耐える健全な財務構造を持った企業を選好します。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年3月16日～2022年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	円 8 ( 8 ) ( 0 )	% 0.050 (0.050) (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	6 ( 6 ) ( 0 )	0.038 (0.038) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	29 (24) ( 5 )	0.175 (0.146) (0.029)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	43	0.263	
期中の平均基準価額は、16,345円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年3月16日～2022年3月15日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 385 ( - )	千アメリカドル 1,345 (△ 30)	百株 592	千アメリカドル 1,476
	カナダ	243 ( 5)	千カナダドル 913 ( 33)	208	千カナダドル 833
	ブラジル	1,785	千ブラジルレアル 1,448	-	千ブラジルレアル -
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	60 ( - )	146 (△ 2)	60	176
	イタリア	438 ( - )	277 (△ 3)	464	221
	フランス	51	483	50	556
	オランダ	79	231	-	-
	スペイン	130 ( 218)	445 ( 9)	24 ( 216)	61 ( 4)
	ベルギー	1	19	12	142
	イギリス	131 ( 32)	千イギリスポンド 124 ( 31)	263	千イギリスポンド 274
	スイス	3	千スイスフラン 52	4	千スイスフラン 83
	オーストラリア	489 ( 29)	千オーストラリアドル 358 ( 5)	1,179	千オーストラリアドル 392
	香港	19,170 ( - )	千香港ドル 5,391 (△ 34)	4,274	千香港ドル 1,841

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	AMERICAN TOWER CORP	0.502	138	0.303	75

(注) 金額は受渡代金。

## ○株式売買比率

(2021年3月16日～2022年3月15日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,107,462千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,382,206千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.80

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年3月16日～2022年3月15日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 1,086	百万円 35	% 3.2	百万円 1,040	百万円 66	% 6.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2022年3月15日現在)

## 外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
EDISON INTERNATIONAL	38	41	271	32,062	公益事業	
NISOURCE INC	168	151	448	53,045	公益事業	
PINNACLE WEST CAPITAL	33	51	380	44,941	公益事業	
CENTERPOINT ENERGY INC	245	208	591	69,981	公益事業	
SEMPRA ENERGY	57	72	1,123	132,801	公益事業	
WILLIAMS COS INC	258	229	711	84,179	エネルギー	
ATMOS ENERGY CORP	38	39	441	52,168	公益事業	
KINDER MORGAN INC	199	—	—	—	エネルギー	
OGE ENERGY CORP	—	38	148	17,600	公益事業	
CHENIERE ENERGY INC	23	18	240	28,427	エネルギー	
TARGA RESOURCES CORP	—	25	166	19,718	エネルギー	
PLAINS GP HOLDINGS LP-CL A	418	396	443	52,418	エネルギー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,481 10	1,274 11	4,966 —	587,346 <34.3%>	
(カナダ)			千カナダドル			
TC ENERGY CORP	123	110	761	70,219	エネルギー	
ENBRIDGE INC	251	230	1,299	119,847	エネルギー	
PEMBINA PIPELINE CORP	66	159	728	67,174	エネルギー	
GIBSON ENERGY INC	304	283	697	64,267	エネルギー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	745 4	785 4	3,487 —	321,509 <18.8%>	
(ブラジル)			千ブラジルレアル			
ECORODOVIAS INFRA E LOG SA	—	1,785	1,128	26,061	運輸	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	1,785 1	1,128 —	26,061 <1.5%>	
(ユーロ…イタリア)			千ユーロ			
RAI WAY SPA	745	892	482	62,425	メディア・娯楽	
INFRASTRUTTURE WIRELESS ITAL	260	357	337	43,754	電気通信サービス	
ENAV SPA	268	—	—	—	運輸	
ITALGAS SPA	380	378	210	27,286	公益事業	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,654 4	1,629 3	1,030 —	133,466 <7.8%>	
(ユーロ…フランス)						
VINCI SA	21	23	218	28,306	資本財	
ADP	27	14	181	23,532	運輸	
ELIFFAGE	32	44	406	52,626	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	81 3	82 3	806 —	104,465 <6.1%>	
(ユーロ…オランダ)						
VOPAK	—	79	225	29,199	エネルギー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	79 1	225 —	29,199 <1.7%>	
(ユーロ…スペイン)						
FERROVIAL SA	76	107	267	34,660	資本財	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
		株 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…スペイン) CELLNEX TELECOM SA	百株 —	百株 76	千ユーロ 315	千円 40,802	電気通信サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	76 1	183 2	582 —	75,462 <4.4%>
(ユーロ…ベルギー) ELIA GROUP SA/NV	10	—	—	—	公益事業
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	10 1	— —	— —	— <—%>
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1,823 9	1,975 9	2,645 —	342,594 <20.0%>
(イギリス) SEVERN TRENT PLC NATIONAL GRID PLC PENNON GROUP PLC	15 596 39	16 536 —	千イギリスポンド 47 602 —	7,269 92,698 —	公益事業 公益事業 公益事業
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	651 3	552 2	649 —	99,967 <5.8%>
(スイス) FLUGHAFEN ZURICH AG-REG	22	21	千スイスフラン 337	42,534	運輸
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	22 1	21 1	337 —	42,534 <2.5%>
(オーストラリア) ATLAS ARTERIA APA GROUP SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	484 — 883	412 295 —	千オーストラリアドル 270 295 —	23,025 25,090 —	運輸 公益事業 公益事業
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1,368 2	707 2	566 —	48,116 <2.8%>
(香港) ZHEJIANG EXPRESSWAY CO-H BEIJING ENTERPRISES WATER GR CHINA GAS HOLDINGS LTD CHINA TOWER CORP LTD-H	3,099 4,008 — 21,175	3,970 5,296 1,003 32,909	千香港ドル 2,699 1,477 990 2,698	40,766 22,312 14,958 40,748	運輸 公益事業 公益事業 電気通信サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	28,283 3	43,179 4	7,866 —	118,785 <6.9%>
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	34,377 32	50,282 34	— —	1,586,916 <92.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## 外国投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末		比 率	
		口 数	評 価 額		
		口 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) AMERICAN TOWER CORP	千口 3	千口 3	千アメリカドル 846	千円 100,148	% 5.9
合 計	口 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	3 1	3 1	846 —	100,148 <5.9%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2022年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 1,586,916	% 92.8
投資証券	100,148	5.9
コール・ローン等、その他	23,887	1.3
投資信託財産総額	1,710,951	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,694,580千円) の投資信託財産総額 (1,710,951千円) に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=118.25円	1 カナダドル=92.20円	1 ブラジルレアル=23.0894円	1 ユーロ=129.48円
1 イギリスポンド=153.88円	1 スイスフラン=125.99円	1 オーストラリアドル=85.01円	1 香港ドル=15.10円

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年3月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,710,951,517 円
コール・ローン等	19,664,758
株式(評価額)	1,586,916,692
投資証券(評価額)	100,148,603
未収配当金	4,221,464
(B) 負債	3
未払利息	3
(C) 純資産総額(A-B)	1,710,951,514
元本	937,501,440
次期繰越損益金	773,450,074
(D) 受益権総口数	937,501,440口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,250円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 902,808,084円  
 期中追加設定元本額 183,294,917円  
 期中一部解約元本額 148,601,561円  
 また、1口当たり純資産額は、期末18,250円です。

## ②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

AMP グローバル・インフラ株式ファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	496,549,598円
海外株式セレクション (ラップ向け)	430,836,938円
AMP グローバル・インフラ株式ファンド (ラップ向け)	10,114,904円
合計	937,501,440円

## ○損益の状況 (2021年3月16日～2022年3月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	50,229,821 円
受取配当金	50,232,682
受取利息	47
その他収益金	544
支払利息	△ 3,452
(B) 有価証券売買損益	305,940,954
売買益	347,930,210
売買損	△ 41,989,256
(C) 保管費用等	△ 2,803,132
(D) 当期損益金(A+B+C)	353,367,643
(E) 前期繰越損益金	404,745,787
(F) 追加信託差損益金	110,875,083
(G) 解約差損益金	△ 95,538,439
(H) 計(D+E+F+G)	773,450,074
次期繰越損益金(H)	773,450,074

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。